



# 七中だより

第10号

令和5年2月15日(水)

校長 勝野 能光

Honorable Valentine for You (名誉あるバレンタインを…)

副校長 廣瀬 尊貴

「昨年10回目の年間王者になった事で、もう十分やり切ったという感情が高まり、決意した次第です」



2023年1月22日、1人のレジェンドが引退を表明しました。レジェンドの名は国枝慎吾。パラリンピックで4個の金メダルを獲得し、4大会(全豪・全仏・ウィンブルドン・全米)制覇と合わせて「生涯グランドスラム」を達成した車いすテニスプレーヤーです。9歳の時、脊髄腫瘍で車いす生活となり、11歳でテニスを始めて以来、27年間プレーし金字塔を打ち立てた国枝選手。その成功裡には「GRIT」(グリット)を巧みに駆使してきた成果があると思います。

グリットはペンシルヴェニア大学のアンジェラ・リー・ダックワーク教授によって提唱されました。「やり抜く力」と定義され、以下の4つの要素から成ります。

- \*Guts (ガッツ: 情熱) …困難なことに立ち向かうこと
- \*Resilience (レジリエンス: 復元力) …失敗してもあきらめずに続けること
- \*Initiative (イニシアティブ: 自発性) …自分で目標を見ずえること
- \*Tenacity (ティナシティ: 執念) …最後までやり遂げること

元来、グリットはビジネスの世界で成功を収めるために必要な資質・能力とされていました。私は学校教育の世界でも育成が必要ではないか考えます。なぜならば、最近の子供たちに、些細なミスをくよくよ考えたり、挫折したりする傾向が見られるからです。確かに素直にはなりましたが、自ら道を切り拓く強さや、最後までやり抜く力に物足りなさを感じます。では、どうすれば身に付いていくのでしょうか。私は次の2点を挙げます。

第1に「目標を達成する方法を2つ以上考えさせ実行させること」です。失敗のショックを引きずり立ち直れない子供たちがいます。多くは目標達成の方法を1つしか考えていなかったことが原因です。上手くいかなかった時に柔軟に対応し、最後までやり遂げるためには、速やかに別の方法にスイッチすることが大切です。したがって子供たちには予め2つ以上の方法を考えさせ、目標を達成させていくことが必要です。

第2に「小さな成功体験を積み重ねること」です。成功体験は成就感を生み自己肯定感につながります。成功体験を味わわせるには、現状よりも少し難しいことにチャレンジさせることが大切です。そうすることで、「自分もできるのでは」という積極的な態度が芽生えることでしょう。成功した時には、自信となって自己肯定感が身に付いていくはずです。



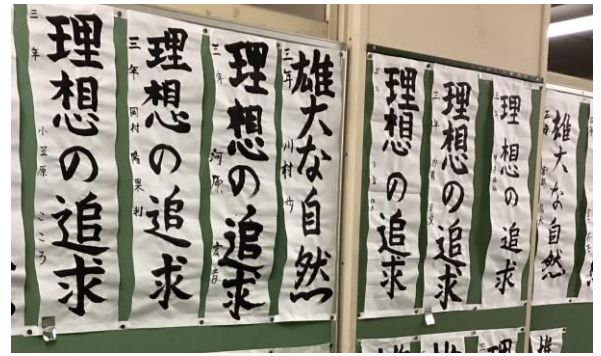
「世界1位のままでの引退はカッコつけすぎと言われるかもしれませんが、許してください」

国枝選手、許すばかりか、日本中が感謝の念に堪えないでしょう。国民栄誉賞— Valentine's Dayに贈ることができたら…27年間の功績を称えたプレゼントとして、感謝を込めて。

## 校内書初め大会

1月12日  
(木)～24日  
(火)まで、校

内書初め大会を開きました。冬休みに取り組んだ書初めを廊下や教室に展示しました。どれも甲乙つけ難い作品となりました。入賞者は以下のとおりです。金賞を受賞した作品は、本校を代表して三鷹市中学校書初め展にも出品されました。



### 【校内書初め展 入賞者】

#### \*金賞\*

杉浦 大暉 (3A)	佐々木 せな (3B)	篠崎 駿 (3B)
五十嵐 愛美 (3B)	荒井 美咲 (3C)	前沢 ちひろ (3C)
小澤 淳乃介 (3C)	小野 立 (2A)	茨木 真 (2C)
團 英翔 (2C)	唐津 麻央 (1C)	佐山 蒼空 (1C)



#### \*銀賞\*

北山 柑菜 (3A)	市原 奈々 (3A)	稲生 優和 (3B)	小笠原 ころこ (3C)
内藤 百愛 (3C)	大城 有里 (2B)	山本 孝裕 (2B)	松井 スミレ (1A)
奥野 心結 (1B)	青木 凜彩 (1C)		

#### \*銅賞\*

伊藤 由奈 (3A)	中村 凜 (3A)	井口 真琳 (3B)	齊藤 蒼葉 (3B)
山田 菜乃葉 (3B)	島村 莉乃愛 (2A)	戸谷 心奏 (2A)	松原 慶陽 (2A)
山崎 彩世 (2A)	鞍掛 碧 (2B)	齋藤 悠那 (2C)	坂 朝羽 (2C)
池谷 実千 (1A)	金重 ココナ (1B)	小林 陽麻里 (1B)	菅谷 桃子 (1C)

☆佐々木 せなさんの作品は三鷹市中学校書初め展でも金賞を受賞しました。

## 新春こどももちつき大会

1月21日(土)大沢台小学校で青少対大沢台地区委員会主催の新春こどももちつき大会が行われました。本校からはボランティアとして21名の生徒が参加しました。

青少対委員の皆様ご指導のもと、もちをつく小学生を整列させたり、もちつきのお手本を見せたり、熱心に活動しました。おいしそうなもちがつき上がるたび、大きな歓声が沸き起こりました。



## 2年生自然教室

2年生は1月18日(水)～20日(金)まで自然教室へ行ってきました。スローガンは「**自然教室を通して学年の絆を深めよう!**」でした。積雪が少ないことが心配されましたが、3日間とも好天に恵まれました。美しい自然の中でのスキー実習等を通して友情を深めるとともに、協力する心や思いやりの気持ちの大切さを学びました。

「心の輪 絆のひもも 強くなる」

《自然教室の五・七・五 生徒傑作選より》



## 第7回おおさわ学園研究会

2月1日(水)第7回おおさわ学園研究会を開催しました。学園の研究

テーマ「地域人財・施設の発掘と活用」を踏まえて、英語分科会と美術・図工・技術家庭分科会の実践発表を行いました。国立天文台の竹を利用した灯籠作成の取組等について発表がありました。今年1年間有意義な学園研究会になりました。



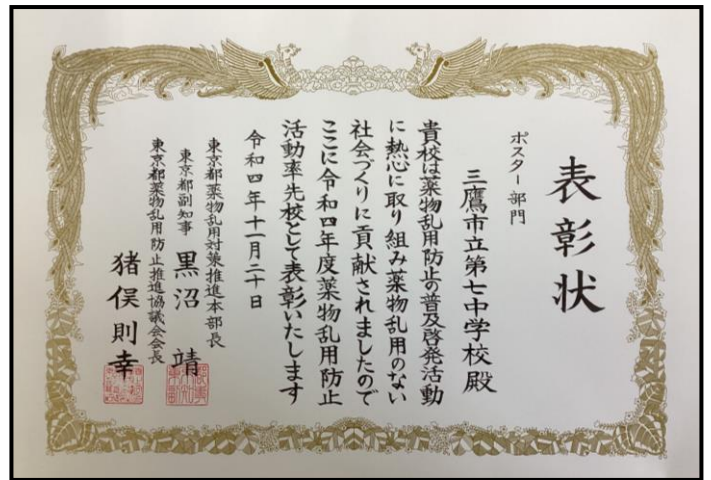
## 三味線体験授業

2年生は音楽の授業で、杵屋徳衛先生を講師にお招きして三味線の演奏にチャレンジしました。三味線は室町時代に琉球(現在の沖縄県)から渡来し、日本の楽器として発展したと言われています。生徒たちは杵屋先生の軽妙洒脱な話術に魅了されながら、情趣ある音色を奏でていました。



## 令和4年度薬物乱用防止活動率先校表彰

本校は薬物乱用防止ポスターや標語を作成して、都薬物乱用防止推進三鷹地区協議会のコンテストに応募し薬物乱用防止を図っております。このたび、薬物乱用防止活動率先校として表彰(ポスター部門)されました。今後も継続して若年層の薬物乱用防止教育の推進を行っていきます。



## 《3月の主な行事予定》

- 1日(水) 都立高校一次発表 安全指導  
領域診断テスト(1年)
- 2日(木) 専門委員会 ②カット  
領域診断テスト(1・2年)
- 3日(金) 子供を笑顔にするプロジェクト
- 6日(月) 薬物乱用防止教室(3年)
- 7日(火) 中央委員会
- 9日(木) 保護者会 ⑥カット  
都立高校二次入試
- 13日(月) 避難訓練
- 15日(水) 卒業式予行 ④カット  
都立高校二次発表
- 16日(木) 都立高校二次発表
- 17日(金) 卒業式準備
- 20日(月) 第39回卒業式
- 23日(木) 大掃除 ③④⑤⑥カット
- 24日(金) 修了式
- 25日(土) 春季休業始



\*新型コロナウイルスの感染状況によって変更になるかもしれません。

## 第61回東京都中学校ロードレース大会

1月22日(日) 明星大学青梅キャンパス内特設コースで行われました。本校の生徒も参加しました。全員ゴールを目指して最後まで力走しました。

### 【入賞者】

- ◇男子1年東部2km競争  
第1位 服部 悦司 記録 7分07秒
- ◇男子2・3年東部2km競争  
第4位 岡本 隼太郎 記録 7分08秒



左記の二次元コードから本校のホームページをご覧になれます。



<https://www.mitaka-schools.jp/nanachu-jhs/index.html>